

**事業者向け**

**放課後等デイサービス自己評価表**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **チェック項目** | **はい** | **どちらともいえない** | **いいえ** | **改善目標、工夫している点など** |
| 環境  ・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 〇 |  |  | 中心に行っている個別療育には十分なスペースが確保できている。小集団活動を行う際には、待合スペースや複数の部屋を使うなど工夫している |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | 〇 |  |  |  |
| ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか |  | 〇 |  | 玄関に低い段差があり配慮が必要な利用者にはスタッフがそばについて状況に応じて補助をしている |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 〇 |  |  |  |
| ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 〇 |  |  | 定期的なアセスメントに加え、日々の療育内容等の振り返りをその都度行い、必要に応じてその他の情報交換も行っている。その中で保護者の意向も確認し業務改善につなげている。 |
| ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 〇 |  |  | ホームページで公開している |
| ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 〇 |  |  |  |
| ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 〇 |  |  | 月に1度の法人全体での研修会を行い、外部講師による研修や情報交換等を行っている |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 〇 |  |  | 半年に1度のアセスメントに加え、希望や状況に応じて適宜面談を実施し計画の作成に役立てている。 |
| ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか |  | 〇 |  | 全員に対して標準化されたアセスメントツールを使用できていない。 |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 〇 |  |  | スタッフ間で振り返りと情報交換を行い、活動プログラムの立案に役立てている。 |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 〇 |  |  | 季節や児童の状況等に応じて柔軟に活動内容を変化させている |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 〇 |  |  | 児童一人ひとりのニーズに合わせて課題を設定し支援している |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 〇 |  |  |  |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 〇 |  |  |  |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか | 〇 |  |  |  |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 〇 |  |  | 療育記録に関しては複数のスタッフで点検し、記録の方法や支援内容について多角的に振り返るよう努めている |
|  | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか |  | 〇 |  | 事業所内でスタッフ・保護者と情報交換を行い見直しの必要性を判断してはいるが、すべての利用者に関して相談支援事業所と連携してモニタリングを行うことはできていない |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | 〇 |  |  | 基本的にはできているが、地域交流の機会の提供に関しては不足している |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか |  | 〇 |  | 管理者もしくは児童発達支援管理責任者が出席している。 |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか |  | 〇 |  | 保護者もしくは学校から依頼があった際に対応している。また、児童の状況等から事業所内で協議し必要と判断された場合には保護者にその旨を伝え検討している。 |
| ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか |  | 〇 |  | 医療的ケアが必要な子どもは受け入れていない |
| ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか |  | 〇 |  | 就学前に利用していた児童発達支援事業所とは情報共有を行っているが、保育所や幼稚園等とは連携できていない点が課題である。小学校を通して必要な情報の共有には努めている。 |
| ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか |  |  | 〇 | 現時点で希望する利用者・保護者はいないが、今後必要になった際に対応できるよう連携を図りたい |
| ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか |  |  | 〇 | 十分な連携を図ることができていないため、今後の課題として挙げられる |
| ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか |  |  | 〇 | 現時点で障害のない子どもと交流する場を事業所として提供することはできていない |
| ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか |  | 〇 |  |  |
| ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 〇 |  |  | 半年に1度のアセスメントに加え、保護者には送迎の際に療育中の様子や学校・家庭での様子について話をする時間を作り情報共有を図っている |
| ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか | 〇 |  |  | 法人内の他事業所で実施しており、事業所内では保護者に対して情報提供を行っている |
| 保護者への説明責任等 | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか |  | 〇 |  | 利用契約時に書面・口頭で丁寧に説明し、その後も必要に応じて質問等に対応している |
| ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか |  | 〇 |  | 保護者から相談があればその都度対応している。発信のない保護者に対しては待合で声をかける等の配慮はしているが、事業所として支援に取り組んでいるとはいえない状況である |
| ㉜ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか |  | 〇 |  | 父母の会の活動の支援はできていない。療育時間に保護者同士の会話が弾むよう配慮している。 |
|  | ㉝ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 〇 |  |  | 苦情受付窓口・責任者を事業所内に掲示し、利用契約の際には文書を渡し説明を行っている。また、苦情があった場合には迅速に対応し事業所内だけでなく法人内で情報を共有して再発の防止に努めている |
|  | ㉞ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか |  |  | 〇 | 定期的に会報等を発行することはできていない。行事等の告知はその都度行っている |
|  | ㉟ | 個人情報に十分注意しているか | 〇 |  |  | 個人情報は事業所から持ち出さないことを徹底し、事業所内でも厳重に管理している |
| ㊱ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 〇 |  |  |  |
|  | ㊲ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか |  |  | 〇 | 現時点で地域住民が参加できるような行事を実施できていない |
| 非常時等の対応 | ㊳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか |  | 〇 |  |  |
| ㊴ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 〇 |  |  |  |
| ㊵ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか |  | 〇 |  | 虐待防止に特化した研修は実施していないが、子どもの発達特性や対応方法等を学ぶ研修を実施ことで虐待防止につなげている |
| ㊶ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか |  |  | 〇 | 現時点で身体拘束が必要な利用者はいない |
| ㊷ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか |  | 〇 |  | 医師の指示書を確認してはいないが、クッキング活動等を行う際にはアンケートや聞き取りを実施して対応している |
| ㊸ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか |  | 〇 |  | ヒヤリハット事例集を作成してはいるが十分に活用されてはいない。個別療育をメインに行っているため、ヒヤリハット事例が少ないという現状もある |